

FE'SAN×岩手県立大学×JA全農いわて スマイルチャージいわてプロジェクト



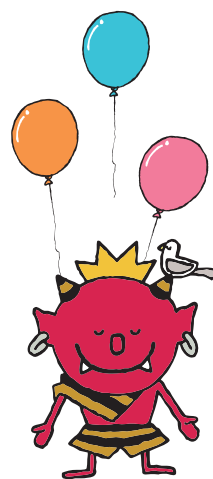
6月23日対面授業の様子

FE'SAN（盛岡ターミナルビル（株））が2015年から展開する「学生協働プロジェクト」について、今年度はプロジェクトパートナーとして本会が参画をします!!

「学生協働プロジェクト」とは

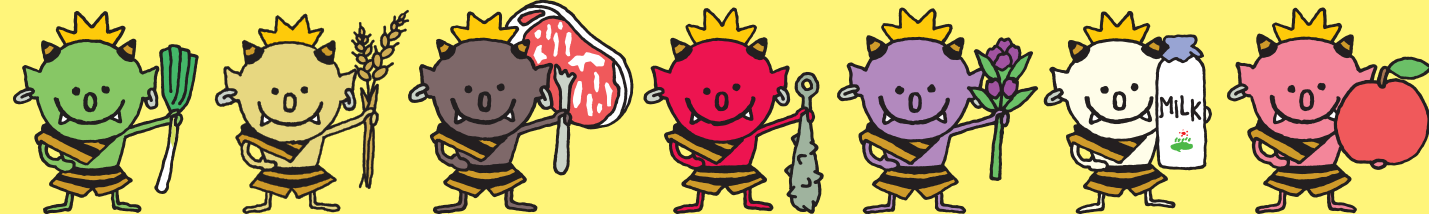
今の「いわて」にもっと笑顔をもたらす、さらには、いわての未来を笑顔であふれさせる活動を、次世代を担う「学生」と協働して展開し、「学生」がアクションを起こすことで地域が元気になることを伝えていくプロジェクトです。これまでの取り組みでは、岩手県立大学と地元食品メーカーのマッチングによる商品開発と開発商品のFE'SAN店舗での販売実績があります。

本会が参画した本年度は、「広報」「乾しいたけ」「花き」の3つのテーマを元に学生にアイデアを出し合ってもらいます。それぞれのテーマに対してグループでプレゼンを行い8月末の審査会で最優秀企画を決定します。



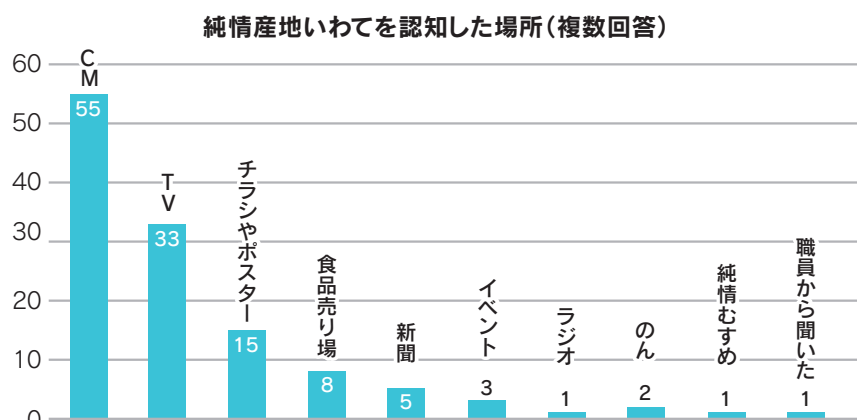
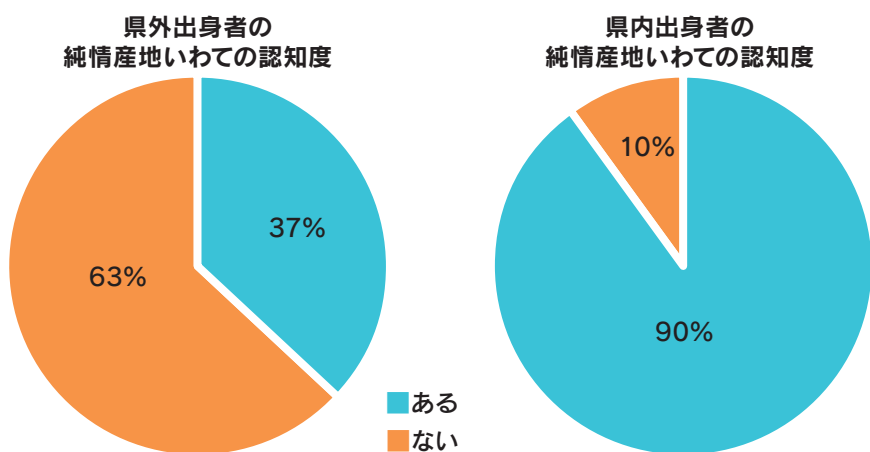
この結果から「純情産地いわて」の認知度は県内出身者には高く県外出身者には低いということが分かりました。

「純情産地いわて」という言葉を目にすることはあっても解釈は学生によつて様々であることが、アンケートから分かりました。



純情産地 いわて

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために5月中旬より授業はオンラインという形で行われています。授業開始前に岩手県立大学総合政策学部3年生の学生116名に「純情産地いわて」の認知度を調査しました。



岩手県内の若い世代を対象に 「純情産地いわて」を知ってもらう・ファンになってもらうためには？



第6回の授業が終了した6月23日時点で、学生は県産農畜産物の消費拡大（消費者の購買活動の促進）へ向けての取り組みについてアイデアを出し合っています。学生の斬新なアイデアを期待しています!!

「広報」の授業終了後は「乾しいたけ」「花き」のテーマに移ります。学生の授業の様子を引き続きお伝えしていまいります!!



いわての花

何気ない
生活に
彩りを



- 1回目 「カンパニユラ」チャンピオンスカイブルー ¥2,700 (税込)
- 2回目 切花リンドウ ¥2,700 (税込)
- 3回目 鉢植えリンドウ(蒼孔雀) ¥4,000 (税込)
- 4回目 鉢植えリンドウ(花巻銀河ブルー) ¥3,200 (税込)

いわてのしいたけ

「主役」になれる極上のしいたけ



岩手県産プレミアム乾しいたけ「七つ星」
(化粧箱入り) 15g以上×12個 ¥10,800 (税込)

いわてのお酒

「純情産地いわて」が贈るお酒



吟醸どぶろくセット
(720ml 2本)
¥4,500 (税込)



月のセレナーデ
3本セット
(赤・白・ロゼ)
¥5,000 (税込)

いわての果物

いわての季節を味わう

佐藤錦

特選2L・L混合



佐藤錦 700g (350×2パック) ¥5,800 (税込)



岩手県産シャインマスカット

10月中旬販売開始予定



岩手県産ラ・フランス
11月販売開始予定



冬恋
12月中旬販売開始予定



JAタウン新ショップ

いわて純情セレクト

7月1日 OPEN!!

「純情産地いわて」を「体感」してみませんか？

7月1日より、新しいWEBショップ「いわて純情セレクト」を開設しました！
コンセプトは、『「純情産地いわて」が買えるお店』。
「純情産地いわて」が誇るこだわりの農畜産物・加工品を販売しています。
下記URL、QRコードからご注文ください！

<https://www.ja-town.com/shop/c/cB4/>

いわて純情セレクト

いわて純情セレクト



いわて純情セレクト

いわて純情米

贅を極めた5種食べ比べセット

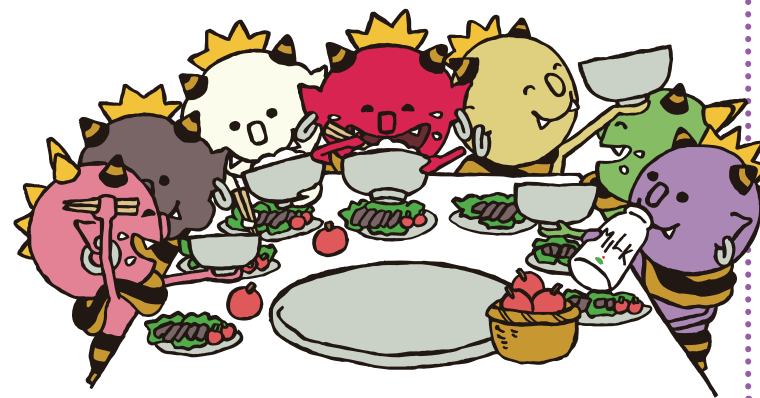
いわて純情米
5種食べ比べセット

金色の風
銀河のしずく
金札米江刺ひとめぼれ
金札米ササニシキ
金札米水沢ひとめぼれ

2kg×5種



¥6,300 (税込)



いわてのお肉

極上の「いわて牛」をご家庭で



しゃぶしゃぶ用 600g

¥15,100 (税込)



肩ロース焼肉用 400g + 焼肉たれ

¥15,100 (税込)

「純情産地いわて」

そこでは、純な自然の力と人々の情が通い合い、純情な農畜産物がすくすくと育っている一。そんな「純情産地いわて」を支える、各事業部の取り組みをご紹介します。



INTRODUCTION

園芸部

園芸部の取り組み

はじめに

園芸事業では、園芸生産の維持・拡大に向けて生産振興と生産者所得の増大、そして、青果市場・量販店との安定取引、「オールいわて」での販売強化に取り組んでいます。

その中で今回は、近年、増加傾向にある中国産輸入したけ菌床との区分化販売（どんぐりマークでの消費者PR）と、水稻育苗ハウスを有効活用し簡易で低コストな移動式隔離ベット栽培システム「ついでOne」の取り組みの2点を紹介します。



JA全農式トロ箱養液栽培システム「ついでOne」の取り組み

1. 「ついでOne」とは

水稻育苗ハウスの育苗後の遊休期間を有効活用できるように、設置や撤去など簡易さを考慮し、かん水制御盤やオリジナル発砲スチロール「プラスBOX」、点滴かん水資材を用い、培土と液肥を使用した低コストで手軽な栽培装置です。

2. 栽培面積

低コスト養液栽培システム「ついでOne」は、全国規模で導入が増加しており、令和元年度末時点で、生産規模を拡大する集落営農組織を中心に199戸、1,280aまで拡大しています。岩手県でも、18戸、124aまで拡大しました。

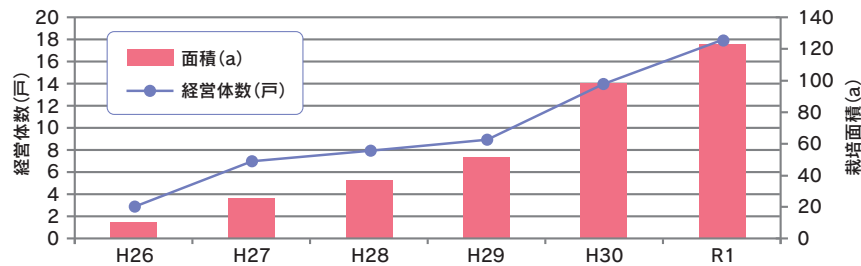


図1 岩手県「ついでOne」栽培の推移

年度	経営体数(戸)	面積(a)	平均面積(a)
H26	3	10.3	3.4
H27	7	25.8	3.7
H28	8	37.9	4.7
H29	9	52.1	5.8
H30	14	98.9	7.1
R1	18	123.9	6.9

※平成26年から栽培を開始

岩手県の「ついでOne」栽培



生しいたけの輸入菌床(菌棒)対策

栽培原料原産地表示「どんぐりマーク」について

1. 輸入菌床の動向

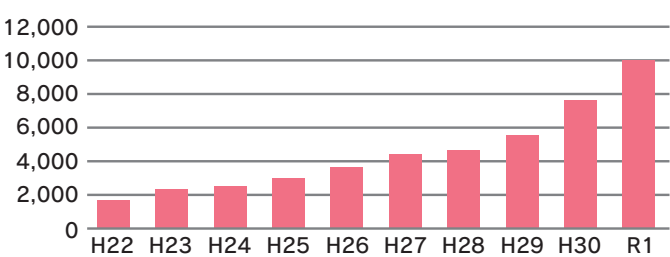
近年、国内の消費需要の変化と価格の優位性から中国から菌床を輸入し、日本国内で生産される生しいたけの流通量が年々増加しています。その流通量は令和元年でおおよそ10,000トンシェアと推測されており、国内の流通・販売に影響を及ぼしています。この輸入菌床から生産される生しいたけの原産地は、「採取地」である国産(〇〇県産)の表示が可能であり、菌床の原産地を判別することができないことから、区別化する取り組みを始めました。

図3 生しいたけ菌床の輸入量(中国)

年産	菌床数量(トン)	推定生産量(トン)	前年対比(%)
H22	4,623	1,620	
H23	6,606	2,320	143%
H24	7,103	2,490	107%
H25	8,563	3,000	120%
H26	10,218	3,580	119%
H27	12,454	4,360	122%
H28	13,251	4,640	106%
H29	15,649	5,480	118%
H30	21,559	7,550	138%
R1	28,617	10,000	132%

※推定生産量は菌床数量の35%で算出

中国輸入菌床からの推定生産量(トン)



2. 栽培原料原産地表示「どんぐりマーク」によるPR

本会では、消費者により正確な情報を提供するため、また国内産であることが一目で判別ができるよう、栽培原料原産地表示「どんぐりマーク」を表示します。本会ならびに県内7JAでどんぐりマークの商標使用許諾を取得し、令和2年度より商品(シール)への添付や販促資材を作成し、青果流通関係者および消費者への発信を強化していきます。



「どんぐりマーク」とは、全国食用きのこ種菌協会に加入している国内種菌メーカーが有している商標権で、日本国内産の樹木を使用して栽培されたキノコにのみ使用できるマークです。

3. 導入面積全国第3位

本県では、平成26年から「ついでOne」を3戸、10aで開始し、新規導入希望生産者や規模拡大を計画する既存生産者への推進と指導を強化し、結果、全国第3位の面積となっています。

図2 令和元年都道府県別ついでOne導入面積

順位	都道府県	面積(a)	戸数	面積シェア(%)
1	秋田	371.0	10	29.0%
2	北海道	159.3	31	12.4%
3	岩手	123.9	18	9.7%
4	山形	104.6	15	8.2%
5	新潟	78.9	19	6.2%
6	福島	65.2	8	5.1%
7	石川	60.3	12	4.7%
8	宮城	54.7	7	4.3%
9	広島	52.5	13	4.1%
10	富山	33.3	12	2.6%
	その他	176.3	54	13.8%
	合計	1280.0	199	100.0%

(令和元年11月現在)

4. 今後の普及拡大に向けて

本会では、県北・県央・県南各地域に、JA営農指導員の育成と推進・指導体制の強化をはかるため「ついでOne研究会」を設置しました。研究会では、新規取り組み生産者や規模拡大生産者への支援と、今後、更なる収量の向上をはかるため、栽培マニュアルを充実させ、低コスト化や省力化による所得向上に取り組んでいきます。



LINE公式アカウントが始動!

「JA全農いわて営農情報」

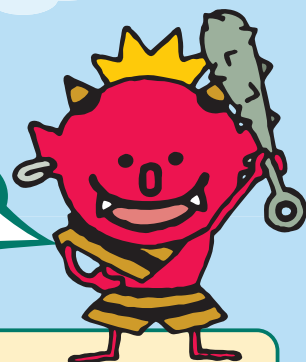


@154cqvg

LINEの「友だち追加」から、ID検索するか
QRをスキャンして登録してください

© LINE

友だち登録よろしく!



- ① 左のQRコードをスキャン
- ② LINEアプリで「全農いわて」と検索

～主な配信内容～

- 「農業気象情報・病害虫情報」
- 「水稻技術情報」および「園芸技術情報」
- 「スマート農業」
- 「GAP」
- 「農業労働力」
- 「各部門からの情報」

生産者の営農に役立つ情報を発信していきます。
LINEの友達登録をよろしくお願いします!!



みらい塾でのZ-BFM指導

今回ご紹介するのは、JAいわて中央（都南エリア）でTAC活動をしている玉山正彦さんです。玉山さんは営農販売部担い手対策課営農経済相談チームに所属し、これまでの米穀・資材部門業務の経験を活かし、最前線で担い手農家と向き合い課題解決に取り組んでいます。また、今年度でTAC経験も3年目に入り、営農経済相談チームのリーダー的存在として管内のTAC活動を牽引しています。

玉山さんは、5年後・10年後に岩手県は人口減少・少子高齢化が他県よりも早く進むことに危機感を持ち、農業の「省力化」「見える化」をいち早く進めなくてはならないと感じていました。

そこで、玉山さんは、管内の「農業組合法人」となると自らも推進する「農業の見える化」策を3点提案し、導入支援をしました。1つ目は営農計画策定支援システム「Z-BFM」を活用した、作業分散の取り組みと「無料職業紹介所」を活用した労力支援です。作付品目の組合せの最適化検討や園芸品目導入時の経営シミュレーションが可能となります。2つ目は、大規模化する担い手農家の圃場を効率的に管理で



圃場での打合せ風景

きるよう営農管理システム「Z-GIS」の導入です。令和元年度はTAC3名と協力し、17経営体へ導入を行いました。3つ目は、リモートセンシングによる水稻の作業効率化・収量向上です。圃場間・圃場内での生育格差を数値として見える化したことで、今まで担い手が感覚的に分かっていたものがデータ化され、どの圃場のどの辺りに注力すれば良いかが明確になり、毎年の水稻栽培に活用できるようになりました。自らも農家であることから、いつも農家目線で物事を考えて提案する玉山さん。今後も多様化する担い手農家ニーズに合っていくため、玉山さんは真正面から向き合っていく人財と感じました。本会もTAC活動を支援していきます。

TACの声

JAいわて中央 都南エリア担当
玉山 正彦さん

農家の皆さんに「いつかは楽しく高収入」を実感いただけるよう、今何を提案するべきかを常に考えながら活動しています。

また、農家の皆さんが「新たな取り組みへの一歩」「自己改革への一歩」が踏み出せる提案ができるように、常に情報収集のアンテナを高く上げてTAC活動に取り組んでいます。



担い手農家の声

農事組合法人となん
統括管理部長 南野 正直さん

当組合は広域的な組合であり、玉山さんの活動には大変感謝しています。

組合員宅を訪問し、情報提供や相談受付をしていただいていること、また当組合事務所に来所し、若手職員へのアドバイスを機会あるごとにいただいております。

当組合は、組合員の技術向上・所得向上、若手職員の育成に努めて参りたいと思いますので今後とも様々な営農支援をお願いいたします。



生産者と共に奮闘する
営農支援部の活動をレポート

TRY!

営農支援 レポート

担い手農家の将来のため
「農業の見える化」を積極的に提案



営農支援課 課長
阿部 貴明



生産資材部 肥料農薬推進課
あべ せいや
阿部 誠矢さん

●趣味・特技

旅行、ドライブ、レース観戦

●現在の担当業務

現在、私はJAおおふなとさん、新しいわてさんの肥料農薬推進業務や受発注業務を主にしています。
それぞれの管内の各支所、購買センター、農家さんを訪問させていただき、推進業務などを行っています。

●これからどんな職員になってみたいか

私の業務は、JAさんと農家さんなど、多くの方々と関わっていく業務です。そのため、JAさんや農家さんから信頼され、感謝してもらえるような職員になりたいと思います。

JA全農いわての 純情人 じゅん じょう びと



●「ベルク」バイヤー●
小畑 俊昭さん



●「ベルク」バイヤー●
板坂 真二さん

Q 岩手の野菜の魅力を教えていただけますか？（特定の品目でもかまいません）
板坂バイヤー やっぱりキャベツですね。春みどりの食味と柔らかさは他ではそうそう見つけられないですね。
小畑バイヤー 純情野菜ですね。岩手の人はアットホームな人が多いと感じます。あとは、生産者と話していると味に自信があるんだなと感じます。視察に行った際など、「うまいだろ」、「これ食べてみな」と声をかけて野菜を食べさせてくれますね。他の産地で

いよいよ岩手県産野菜が最盛期を迎える7月です！
今回は、本会の最重点販売先である、ベルクの板坂バイヤーと小畑バイヤーの二人にインタビューしました！
ベルクは埼玉県に本社を構え、埼玉・群馬中心に関東に116店舗展開している地域密着型のスーパーマーケットです。
約20年「いわて純情野菜」の直接取引実績があり、1年を通してキャベツ（いわて春みどり）を中心とし、ピーマン・トマト・しいたけなど様々な品目を扱ってくださっています。
5年ほど前からはバイヤーや店舗のチーフなどが産地を訪れ、圃場視察・キャベツの収穫体験などを行い、生産現場への理解を深めていただいています。

「いわて純情野菜」への想い 地域密着型スーパーマーケット「ベルク」バイヤーインタビュー

消費地だより

純情ブランド消費地の「今」をレポートします。
消費地販売部 発



消費地販売課
川畑 春海

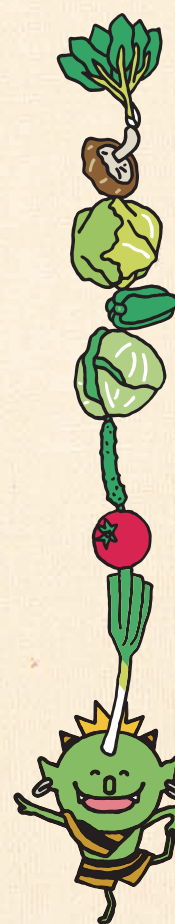
はあまり無いことですよ。

Q バイヤーとしてどのような考えを大切にしながら商品を探したり、販売したりしていらっしゃるのですか？
板坂バイヤー 会社の利益はもちろん大事ですが、ベルクだけがいい思いをしないようにと思っています。仲卸、市場、そして産地。関わるみんながいい思いをできるように。

Q 岩手県産野菜に対する要望などありますか？
板坂バイヤー キャベツがもっと欲しいです！もっと作ってほしいです！
小畑バイヤー いつまでも純情でいてください！また、近年は岩手の方も暑くなってきましたので、今後のためにも暑さに適した野菜と一緒に作っていただけたらと思っています。

Q お気に入り、または思い入れの強い岩手の野菜はありますか？
板坂バイヤー キャベツです！料理の幅が広く、消費者の食卓に上りやすい食材だと思います。それに他の野菜に比べても鮮度の良し悪しが分かりやすく、売れ行きに直

Q 生産者へむけて一言お願いします。
板坂バイヤー これからも美味しい野菜を作ってください！待っています！
小畑バイヤー 岩手は食べる人のために野菜を作ってくれていると感じます。これからも一緒に頑張ります！
コロナが落ち着いたらまた収穫体験などで産地の勉強をさせていただきます。



「2020 JAいわてグループ 農業機械フェア 紙面展示会」 を開催します！

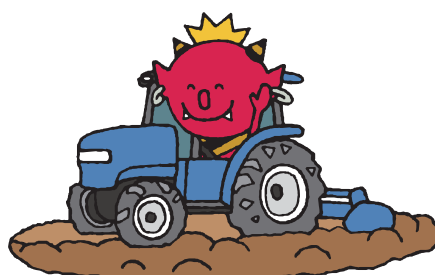
例年、6月中旬に開催してまいりました「JAいわてグループ農業機械フェア」。
今年度は、コロナウイルス感染拡大の影響を鑑み、「JA農業機械紙面展示会」として開催いたします。
各メーカー、この夏イチオシの最新機械情報が盛りだくさんです！

●開催期間：令和2年6月1日(月)～8月31日(月)

紙面展示会本冊子についてはお近くのJA農機センターにて配布中です！！

また、紙面展示会と同時に「JAいわてグループPRESENTS 2020夏の農業機械スマイルキャンペーン」を開催いたします。

期間中、県内JA農機センターで5万円以上お買い上げいただくと、抽選で豪華賞品を手に入れるチャンス!!



[illegible]

編 集 後 記

梅雨が明けるといよいよ暑い夏がやってきますね。安全・安心な「いわての野菜」を食べて体力をつけ乗り越えましょう。まだまだマスクが手放せない状況が続くと思いますが、熱中症には十分に気を付けて引き続き対策を行っていきましょう。（星）

KLARA

タイトルのKlara(クララ)は、宮沢賢治の手帳にしている言葉で、エスペラント語で「晴」「暖かい」を意味します。全農の未来がそして世の中の全てが、明るく晴れやかにという願いが込められています。



私たち全農グループは、
**生産者と消費者を
安心して結ぶ懸け橋**
になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

JA 全農いわて 総合企画課
JA 全農いわてホームページ

〒020-8605 盛岡市大通一丁目2番1号 TEL019-626-8615 FAX019-653-6145
<http://www.junjo.jp>

